

# お詫びと訂正

本書「2025年度用 高校受験 東京都立高校7年間スーパー過去問」中の2020年度入学試験 社会の解説に誤りがございました。ご購入くださいましたお客様には、大変ご迷惑をおかけし誠に申し訳ございません。ここに謹んでお詫び致しますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

2024年12月 (株)声の教育社 編集部

## 記

### 東京都立高校

2020年度入学試験 別冊解説解答 社会 5〔問4〕15ページ下から8行目

(誤) 占める租税・印紙収入の割合の増加」に当てはまる時期はアとイであり、「公債金の…

※二重下線部を改めるにあたり社会 5〔問4〕の解説を下のように訂正いたします。

(正)〔問4〕<資料の読み取り>Ⅱの文章の記述内容とⅠのグラフを照合して考える。「歳入総額に占める租税・印紙収入の割合」は、1970年が約85%、1980年が約60%、1990年が約85%、2000年が約55%、2010年が約40%である。よって、「歳入総額に占める租税・印紙収入の割合」が増加しているのは、1980年から1990年のイである。また、この時期には「公債金の割合」が1980年の約30%から1990年の約10%に低下した。さらに、1980年代の後半には、土地や株の価格が実際の価値以上に上昇するバブル経済と呼ばれる好景気により、経済成長率は6%台となった。加えて、この時期には電話や鉄道などの公営企業の民営化が行われ、消費税が初めて導入された。